

第62回青少年読書感想文全国コンクール課題図書

江南市立図書館では、少しでも多くの人に読んでもらうため、
6月1日～8月31日の間、課題図書の貸出期間が一週間のみとなります。
延長はできません。ご協力をお願いいたします。

《 小学校低学年（1・2年生）の部 》 ※貸出中のときは、予約をしてお待ちください。



[Eホ] 『ポタンちゃん』
小川洋子／作
岡田千晶／絵 PHP 研究所

ポタンちゃんとポタンホールちゃんはなかよしです。ふたりはいつもいっしょです。ところがあるひ、ポタンちゃんをとめていたいがきれてしまいました。ポタンちゃんはコロコロとこころがっていってしまい…。

[Eミ] 『みずたまのたび』
アヌ・クロザ／さく
こだましおり／やく
西村書店

ネコのみずいれに、ひとつぶのこったちいさなみずたまがたびにでる。たいようのおかげでそらにまいあがり、くものり、あめになって…。さまざまなかたちに、すがたをかえ、いろいろなきものであいながら、ちきゅうをめぐるみずたまのぼうけん。

K486 『アリとくらすむし』
島田たく／写真・文
ポプラ社

アリのすのなかでえさをもらうアリツカコオロギ。アリのようちゅうをたべてそだつアリスアプ。アリのぎょうれつにかくれててきからみをかくすハネカクシのなかま…。アリといっしょにくらすむしたちを、おおきなしゃんでしょうかいします。

K913フ
『ひみつのきもちぎんこう』
ふじもとみさと／作
田中六大／絵 金の星社

あるひ、ゆうたは、ちずをたよりに、ひみつのほしよをたずねます。そこは、きもちをあずかる、ひみつのきもちぎんこう。ジャリーン!チャリーン!つぎつぎといろんなきもちがはいってきます。ゆうたのきもちつうちようは、「いじわる」や「ふしんせつ」といったくろコインがいっぱい。あわてたゆうたは…。

《 小学校 中学年（3・4年生）の部 》



K51 『コロッケ先生の情熱！
古紙リサイクル授業』
中村文人／文 佼成出版社

コロッケ先生こと小六信和さんは、小学校や中学校を回り、古紙のリサイクル授業を行っています。コロッケ先生のねがいは、ゴミ箱にすてられる紙を、1枚でも多く救うことなのです。コロッケ先生はどのような人で、どんな授業を行っているのかを紹介しします。

K913イ 『二日月』
いとうみく／作 丸山ゆき／絵
そうえん社

あたしの妹、1歳の芽生。まだ歩けないし、立てないし、ハイハイも、おすわりもできないし、おっぱいを飲むとすぐに吐いてしまう。心配したママが、芽生を病院につれていくと、芽生は入院することになって…。少女のゆれる心を、まっすぐな文章と、やわらかくも力強い絵でえがきます。

K933ア 『さかさ町』
F.エマーソン・アンドリュース／作
ルイス・スロポドキン／絵
小宮由／訳 岩波書店

汽車にのり、おじいちゃんの家にもわかっていたリッキーとアン。とちゅうで線路の事故があったので、さかさ町で1日すごすことになりました。この町は、なにもかもさかさまです。車しょうさんにあんないされて、ふたりはホテルにつきました。が…。

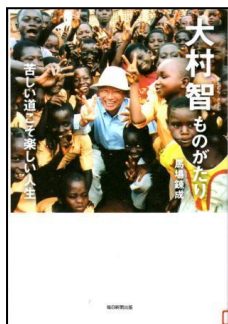
[Eキ] 『木のすきなケイトさん』
H.ジョゼフ・ホプキンズ／文
シル・マケルマリー／絵
池本佐恵子／訳 BL 出版

ケイトは、森のなかで遊び、木がともだち。木の勉強がなによりすきでした。大学を卒業し、教師となってサンディエゴで働くことになりました。そこは木がほとんどない、砂漠の町で…。ケイトはどうしたでしょう。ほんとうにあった、木のだいすきなケイトさんのおはなし。

第62回青少年読書感想文全国コンクール課題図書

江南市立図書館では、少しでも多くの人に読んでいただくために、6月1日から8月31日まで課題図書の貸出は1週間のみとなります。延長はできません。ご協力をお願いいたします。

《 小学校高学年（5・6年生）の部 》 ※貸出中のときは、予約をしてお待ちください。



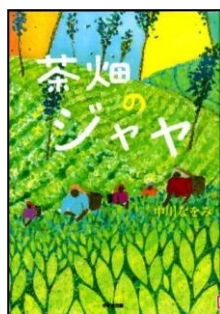
K289 オ 『大村智ものがたり』
馬場錬成／著 毎日新聞出版

いつも新しいことに挑戦し、全力を挙げて一生懸命やっていると、応援してくれる人も出てきて、いい結果につながります。大村智がノーベル生理学・医学賞を受賞するまでの道のりを描く。大村智からのメッセージも掲載。



K29 『ここで土になる』
大西暢夫／著 アリス館

ダム建設にゆれた村で、変わらず、動かず、そこに暮らし、土を耕し続けた夫婦がいる。村人が全員去った集落に根を張って生きる老夫婦と大イチョウの物語を、写真とともにつづる。



K913 ナ 『茶畑のジャヤ』
中川なをみ／作 鈴木出版

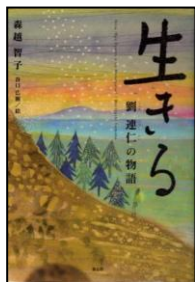
成績の良さを皮肉られ、クラスで仲間はずれにされていた小5の周は、海外で働く祖父の誘いでスリランカへ。茶畑で出会った少女ジャヤを通して、スリランカの民族対立を知った周は、自分とまわりの関係に置きかえて考え始め…。



K933 ハ 『ワンダー』
R.J.パラシオ／作
中井はるの／訳 ほるぷ出版

生まれつき顔に障害があるオーガストは、10歳で学校に通うことになったが、生徒たちは彼の顔を見て悲鳴をあげ、じろじろながめ、やがて避けるようになる。一方で、オーガストの話面白がる同級生は少しずつ増えていき…。

《 中学校の部 》



K366 『生きる』
森越智子／作 谷口広樹／絵
童心社

1944年9月、日本軍により中国から連れ去られた劉連仁は、苛酷な炭鉱労働から逃亡し、北海道の山中でひとり、13年間生き抜いた。奪われた、人としての尊厳をとり戻すための孤独な闘いの物語。



K913 イ 『ABC!』
市川朝久子／著 講談社

みさとが所属するのは、機材オタク・古場とたった2人の放送部。廃部の危機に加え、学校一蔵しい先生からも目をつけられ、イマイチな毎日がつづく。さらに美少女の転校生・葉月が関わりはじめてから、状況は複雑化し…。



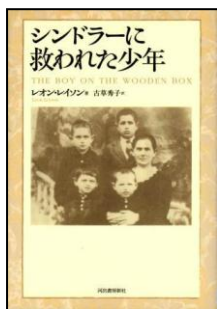
K933 ル 『白いイルカの浜辺』
ジル・ルイス／作
さくまゆみこ／訳 評論社

浜辺でけがをしたイルカの子どものを見つけ、何とか助けようとするカラ。少女のいちずな思いが、まわりの人たちを動かし始め…。海を守ることの大切さに気づき、成長していく少女の物語。

第62回青少年読書感想文全国コンクール課題図書

江南市立図書館では、少しでも多くの方に読んでいただくために、6月1日から8月31日まで課題図書の貸出は1週間のみとなります。延長はできません。ご協力をお願いいたします。

《 高等学校の部 》



289 レ 『シンドラーに救われた少年』

レオン・レイソン／著
古草秀子／訳 河出書房新社

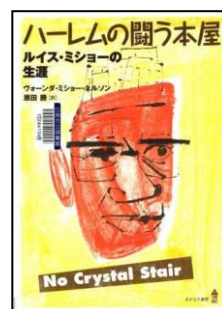
ユダヤ人大虐殺の過酷な体験を生き延びた少年と家族。「最悪の状況で最善のことにした」ごく普通の人間=シンドラーの本当の勇気とは、何だったか？「シンドラーのリスト」に載った最年少のユダヤ人による証言録。



913 又 『タスキメシ』

額賀滯／著 小学館

長距離選手として将来を期待されていた真家早馬は、大けがのリハビリ中に、調理実習部の都と出会い、料理に没頭。早馬が戻るのを待つ仲間たちの気持ちを裏切り、競技からの引退を宣言する。そんな中、駅伝大会がスタートし…。



933 ネ 『ハーレムの闘う本屋』

ルイス・ミショー・礼ワ／著
R.ゲイリー・クリスティ／イラスト
原田勝／訳 あすなろ書房

1939年、ニューヨーク7番街に風変わりな書店が誕生した。黒人が書いた、黒人についての本だけを売る店。権力や差別、偏見に屈せず、全米ナンバーワンの黒人専門書店をつくりあげたルイス・ミショーの生涯を紹介する。

★昨年の課題図書も「特設コーナー」にございます。

貸出中のときは、予約をしてお待ちください。